



学校だより

横浜市立大鳥小学校

# おおとり

令和2年11月5日 発行

11月号

学校教育目標

はばたく子

◆やさしい子

◆たくましい子

◆かしこい子

〒231-0806 中区本牧町1-251

学校長 水島 貴志 TEL 621-7700



## 変わる大鳥、変わらない大鳥

副校長 宮崎 博隆

先月30日に100周年記念BSF (New Big Sports Festival) が開催されました。「やっと開催することができました」というべきでしょうか。この4月に副校長として大鳥小学校に赴任して以来、「大鳥小の運動会 (BSF) は、すごい。」といった声をたくさんの人から聞きました。私自身楽しみにしていたのですが、最初にBSFについて話題となったのは「今年は開催できるのか？」ということでした。臨時休業が続き学校が再開されたのが6月から。そもそも5月に予定していましたので、中止にするか、延期にするか、延期するにしてもいつならいいのか、まさに五里霧中の年度初めだったことが思い出されます。

そして職員で検討を重ね、10月30日に今年のBSFを開催することを決定しました。1回の提案ですべてが決まるわけもなく、世の中の感染状況やその都度改訂される「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に照らし合わせて、できること、できないことを一つひとつ検討してきた結果が今年のBSFです。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、直接の参観をご遠慮していただき、心苦しいばかりでしたが、子どもたちの座席の間隔を十分にとって無事に開催できましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。



中心となってBSFを作り上げてきた6年生から5年生へ、来年のBSFに向けての思いを引き継ぎました。

(次頁へ)

(前頁より)

さて、子どもたちの様子はといたしますと、様々な制約があったにもかかわらず、一生懸命さが随所に伝わってきました。そして、私は初めての観戦でしたが、応援は例年と変わらない盛り上がりだと周りの人たちも言っていました。声をからしながら頑張っている応援団に限らず、すべての子どもたち（マスクをしてですが）が応援している。そして、色別ダンスでは他の色のダンスを応援席で一緒に踊っている。そういう姿が大鳥小らしいと思いました。6年生にとっては待ちに待ったBSFだったことでしょう。5年生だった昨年度のBSFで、6年生から思いを引き継ぎ1年半。実施の仕方を工夫しながら、はちまき授与式、団結式をリードし、全校児童のモチベーションを高めてくれました。新しい形の中でも、大鳥小の伝統を受け継いだ立派な6年生の姿だったと思います。

このように、新しい形ながらも“大鳥小らしさ”が随所にみられるBSFを無事に開催することができたのも、保護者・地域の皆様のご理解のおかげとっております。急遽実施した体育館でのライブ映像配信では、約250名の方が参観されました。事前のルールをしっかりと守っていただき、朝の入場から閉会までスムーズな運営ができました。お手伝いいただいたPTA役員・広報委員の皆様、本当にありがとうございました。



体育館でのリアルタイム映像配信



閉会式後、みんなの想いを受けて  
雛から大きく成長したニコラスを紹介する飼育委員会

「新しい形」が今年度限りになるのか、来年も続くのか、現時点ではわかりません。しかし、形を変えても受け継がれるべき“大鳥小らしさ”はそこにあることがわかりました。子どもたちの思いを大切にしながら、時代や情勢にあわせた大鳥小の「新しい形」を模索していきたいと思えます。

## お願い

新型コロナウイルスの流行が収まる様子が見られません。

新しい生活様式で三密を避けながら、皆さんお気を付けのことと思います。引き続きのお願いですが、お子さんやご家族の方がPCR検査を受けた（受けると決まった）時点で、学校までご連絡ください。

【平日稼業中】は ☎621-7700 まで。【休日・夜間】は ☎080-7677-5851 または ☎080-3516-5418 までお願いします。こちらは当面コロナ関係の連絡専用携帯としております。